

平成22年1月

竹田伸也 学位論文審査要旨

主 査 浦 上 克 哉
副主査 渡 辺 高 志
同 中 込 和 幸

主論文

Effectiveness of the Takeda Three Colors Combination Test as a screening test for dementia

(竹田式三色組合せテストの認知症スクリーニング検査としての有用性)

(著者：竹田伸也、中込和幸、田治米佳世、齋藤基)

平成21年 Psychogeriatrics 9巻 4頁～10頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、認知症スクリーニング検査の開発を独自に行い、その有用性を認知症各疾患群と対照群との比較において検討したものである。その結果、アルツハイマー病と脳血管性認知症に対する高い感度と特異度が認められ、検査の構成要件として重要である信頼性と妥当性についても、比較的高い値が得られている。また、検査時間も短く、検査に対する拒否や抵抗が全例で認められないことより、高齢者を対象とした認知症スクリーニング検査としての忍容性の高さが窺われる。本論文の内容は、老年精神医学の分野で、簡便で疾患検出力および忍容性が高い認知症スクリーニング検査としてのTTCCの有用性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。